



## Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2018年9月30日をもって、第71期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

## 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかに回復しております。世界経済は全体としては緩やかに回復しているものの、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響など、不透明な状況です。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち一般オーディオ機器事業は高級オーディオ機器事業と組織統合し、収益力改善に向けて高付加価値の中高級機種へのシフトを進めております。音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、前期より引続きBtoB事業へのリソースの重点配分を継続し、売上拡大のため、音響設備工事業者への営業活動を強化いたします。情報機器事業においては、医用画像記録再生機器並びに計測機器は前期に引続き海外市場への参入を進めてま

います。また、ソリューションビジネスにおいては、当社グループの他の事業とのシナジー効果が小さいことから介護記録システム事業を譲渡しました。

当中間期におきましては、売上収益は減収となりましたが、営業利益については、前期実施しました構造改革による固定費削減効果、介護記録システム事業譲渡益により前年同期と比較して改善しましたが、為替相場の変動に伴い為替差損を1億8千5百万円計上いたしました。

この結果、当社グループの当中間期の売上収益は70億4千万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は3百万円(前年同期営業損失3億1千8百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は4億4千1百万円(前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失4億5千3百万円)となりました。

## 通期の業績見通しについて

当社グループの業績の特性は、季節要因により、売上、利益とも第4四半期会計期間に集中する傾向があり、また、第3四半期会計期間以降、機内エンターテインメント事業の無線LANを使用したポータブルサーバー製品をはじめ、業務用オーディオ機器事業部門等で複数の新製品の上市を予定しております。

なお、2019年3月期の連結売上収益は173億円、営業利益7億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は4億円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

## 連結業績ハイライト (国際会計基準)

	第69期 2017年3月期	第70期 2018年3月期	第70期(中間) 2017年9月期	第71期(当中間) 2018年9月期
売上収益	(百万円) 17,346	17,016	7,816	7,040
営業利益	(百万円) 295	330	△318	3
税引前当期利益	(百万円) △8	324	△425	△269
親会社の所有者に帰属する当期利益	(百万円) △52	249	△453	△441
基本的1株当たり当期利益	(円) △0.18	0.86	△15.73	△15.31
資産合計	(百万円) 11,192	10,285	10,507	10,007
資本合計	(百万円) 638	911	333	671

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、基本的1株当たり四半期利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

## 音響機器事業

65.3%

売上収益 **4,596 万円**  
(前年同期比 2.3%減)

セグメント営業利益 **263 百万円**  
(前年同期比 11.2%増)

高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）は、国内販売は主力のSACDプレーヤーカテゴリーが新製品も加わり堅調に推移し、また、アンプネットワークプレーヤー、輸入スピーカーなどのカテゴリーにおいて前年同期と比較して大きく伸長しました。輸出はアジア地域が大きく伸長し、また北米市場は堅調に推移しました。その結果、全体としては前年同期と比較して増収増益となりました。

一般オーディオ機器（TEACブランド）は、前期に上市したReferenceシリーズや録音系のフルサイズコンボが引き続き堅調に推移しました。一方、一体型レコードプレーヤーシステムが前年同期と比較して低調に推移した結果、全体としては減収となりましたが、中高級機種へのシフトによる売上総利益率改善と固定費の更なる削減効果により利益は改善し黒字化、大幅増益となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）は、BtoC事業において、欧州や日本にて堅調に推移しました。米国においてマルチトラックレコーダーの販売は堅調となったものの、主力商品であるハンドヘルドレコーダーが低調に推移しました。BtoB事業においては、設備市場向けソリッドステートレコーダーが世界的に堅調に推移しましたが、新製品の上市遅れや、国内放送局における業務用再生機の需要一巡などもあり、全体的に低調となりました。また、下期に予定されている多数の戦略的新製品市場投入に備えた開発投資により、固定費が増加しました。これらの結果から、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては前年同期と比較して減収減益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

## 情報機器事業

28.5%

売上収益 **2,006 百万円**  
(前年同期比 17.6%減)

セグメント営業利益 **7 百万円**  
(前年同期セグメント営業利益 267 百万円)

航空機搭載記録再生機器は、海外顧客への出荷が低調であったことから減収となりました。

計測機器は、データレコーダーにおいては当中間期間は大型プロジェクトが無かったことから低調に推移しました。

センサー関連は大手半導体製造装置メーカー向けの出荷が減少したことから低調となり、計測機器全体では減収となりました。

医用画像記録再生機器は、消化器内視鏡向けレコーダーの国内出荷が低調に推移し、手術画像用レコーダーは国内・海外ともに好調に推移したものの、医用画像記録再生機器全体では減収となりました。

ソリューションビジネスは受託開発が好調に推移しました。一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減により減収となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー  
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC



## その他事業 6.2%

売上収益 **438 百万円**  
(前年同期比 35.5%減)

セグメント営業利益 **20 百万円**  
(前年同期比 75.6%増)

- EMS 事業

要約連結財政状態計算書

	当中間期	前期
	2018年 9月30日 現在	2018年 3月31日 現在
■ 資産		
流動資産	8,141	8,297
現金及び現金同等物	2,259	2,142
営業債権及び その他の債権	2,626	3,624
棚卸資産	2,982	2,255
その他の流動資産	273	276
非流動資産	1,867	1,988
有形固定資産	1,346	1,347
無形資産	237	228
その他の投資	64	181
繰延税金資産	26	24
その他の金融資産	154	179
その他の非流動資産	39	29
資産合計	10,007	10,285

Point 1 連結財政状態計算書

＜資産合計＞  
現金等及び棚卸資産は増加しましたが、営業債権の減少により、前期末に比べ、2.7%減となりました。

＜負債合計＞  
営業債務及びその他の債務の減少、退職給付に係る負債の減少により、0.4%減となりました。

Point 2 連結損益計算書

＜営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益＞  
売上収益は、減収となりましたが、営業利益については、前期実施しました構造改革による固定費削減効果、および介護記録システム事業譲渡益 294 百万円により改善しましたが、為替相場の変動に伴い、為替差損を 185 百万円計上いたしました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞  
主な内訳は、プラス要因として、営業債権及びその他の債権の減少額 1,039 百万円、マイナス要因としては、四半期損失 357 百万円、退職給付にかかる負債の減少額 629 百万円であります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞  
プラス要因として、事業譲渡による収入 294 百万円、マイナス要因としては、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出 109 百万円あります。

(単位：百万円)

	当中間期	前期
	2018年 9月30日 現在	2018年 3月31日 現在
■ 負債		
流動負債	6,051	5,515
借入金等	2,865	2,644
営業債務及びその他の債務	1,391	1,419
引当金	629	575
未払法人所得税	94	6
その他の金融負債	4	13
その他の流動負債	1,069	857
非流動負債	3,285	3,859
借入金等	302	234
退職給付に係る負債	2,886	3,505
引当金	43	51
繰延税金負債	8	8
その他の非流動負債	46	60
負債合計	9,336	9,374
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	501	825
資本金	3,500	6,000
資本剰余金	—	74
自己株式	△ 121	△ 121
利益剰余金	198	△ 1,935
利益剰余金 (IFRS 移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	355	237
非支配持分	170	86
資本合計	671	911
負債及び資本合計	10,007	10,285

要約連結損益計算書

	当中間期	前中間期
	2018年4月1日～ 2018年9月30日	2017年4月1日～ 2017年9月30日
売上収益	7,040	7,816
売上原価	4,102	4,664
売上総利益	2,937	3,152
販売費及び一般管理費	3,211	3,371
その他の損益	17	28
個別開示項目前営業損失 (△)	△ 291	△ 248
個別開示項目	294	△ 71
営業損失 (△)	3	△ 318
金融収益	1	5
金融費用	273	112
持分法による投資利益(△損失)	—	—
税引前四半期損失 (△)	△ 269	△ 425
法人所得税費用	88	19
四半期損失 (△)	△ 357	△ 445
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	△ 441	△ 453
非支配持分	84	9

(単位：百万円)

要約連結キャッシュ・フロー計算書

	当中間期	前中間期
	2018年4月1日～ 2018年9月30日	2017年4月1日～ 2017年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 367	△ 364
投資活動による キャッシュ・フロー	226	△ 96
財務活動による キャッシュ・フロー	225	△ 162
現金及び現金同等物に 係る換算差額	34	△ 9
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	118	△ 630
現金及び現金同等物 期首残高	2,142	2,097
現金及び現金同等物 四半期末残高	2,259	1,467

(単位：百万円)

要約連結持分変動計算書 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS 移行時の累積換算差額)	その他の資本の構成要素			
当期首残高	6,000	74	△ 121	△ 1,935	△ 3,430	237	825	86	911
四半期包括利益									
四半期損失 (△)				△ 441			△ 441	84	△ 357
その他の包括利益						117	117		117
四半期包括利益合計				△ 441		117	△ 324	84	△ 240
減資	△ 2,500	2,500					—		—
欠損補填		△ 2,753		2,753			—		—
利益剰余金から 資本剰余金への 振替		179		△ 179			—		—
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
所有者との取引額合計	△ 2,500	△ 74	△ 0	2,574	—	—	△ 0	—	△ 0
当四半期末残高	3,500	—	△ 121	198	△ 3,430	355	501	170	671

\*連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。



TEAC

### WS-A70 ネットワークオーディオシステム

ハイレゾ対応ネットワークオーディオシステム『WS-A70』をライフスタイル提案型専門店及びティアック公式オンラインストア『ティアックストア』を中心に2018年6月より販売開始いたしました。

『WS-A70』はティアックならではのハイレゾ再生技術による高音質と、「木と布」をテーマにしたシンプルかつこだわりのデザインを両立したオールインワンネットワークハイレゾオーディオシステムです。様々なライフスタイルに合わせた音楽空間のコーディネートや、ホテル、レストラン、ラウンジなどの商業施設でのラグジュアリーな空間の演出にも最適。『WS-A70』は、ワンランク上の新たなMusic Lifestyleをお届けします。



ESOTERIC

### N-03T ネットワークオーディオトランスポート

音楽再生の未来へ。最高峰のクオリティを追及する、セパレートコンポーネント思想を受け継ぐネットワークトランスポートの誕生。

ESOTERICが創業以来培ってきた「最高峰のクオリティを追及する」というフィロソフィーが、ネットワークオーディオにも新しい潮流をもたらし、デジタル出力に特化したネットワークトランスポート『N-03T』を2018年2月に発売開始いたしました。

お気に入りのセパレート型D/AコンバーターやスーパーオーディオCDプレーヤーにUSBでデジタル接続。ファイルやストリーミング再生をお好みのD/Aコンバーターで楽しめる、自由度の高いシステムの構築を可能としました。進化した高性能プロセッサ搭載のネットワークモジュール、定評の再生用アプリによる洗練を極めた操作性、音楽再生へのあくなき探究に、更なる可能性で応える新世代のデジタルトランスポートの誕生です。

販売開始以来、多くのお客様やメディアに評価され一時期品切れ状態となるほど人気を博しております。

音楽の再生もネットワーク化が増えていくなか、ESOTERICはハイエンドオーディオの技術力を生かし、今後も対応して参ります。



### PS-V50 ポータブルストリーミングサーバー

IFE (In-Flight Entertainment) 業界で25年以上の実績を誇るティアックが、航空機向けの小型で軽量のポータブルストリーミングサーバーの新製品『PS-V50』を2018年4月に発表いたしました。

この『PS-V50』1台で乗客が持ち込むスマートホンなど50台に対してオンデマンドでビデオ、オーディオ、ムービー、ゲーム、eBookなどの機内エンターテインメントを同時配信し、楽しんで頂くことが可能になります。

従来機器では、航空機搭載のための認証取得に多くの時間とコストが掛かり、機内エンターテインメントサービスを提供する航空会社には負担となっておりました。しかし『PS-V50』は、手荷物として機内に持ち込むことができ、機体搭載各機器への接続を必要としない為、高額な機体改修、搭載認証が不要であり、容易に機内エンターテインメントの提供を実現できます。

今後も、IFE業界にて長い実績のあるティアックだからこそできる機内エンターテインメントサービスをより手軽に、そしてスピーディに実現して参ります。

TEAC



## Model 24 24トラックレコーディングミキサー

TASCAM.

デジタルレコーディング規格DTRS搭載のデジタル8トラックレコーダー DA-88やポータブル型マルチトラックレコーダー PORTASTUDIOシリーズなど、革新的な製品で常に先進的なレコーディングソリューションを提供してきたTASCAMが、この度、長年培ってきた高度な録音技術と最新のオーディオ技術を融合させ、24トラックライブレコーディングミキサー『Model 24』を開発。2018年11月より販売開始いたしました。

『Model 24』は、マルチトラックレコーダー、ミキサー、オーディオインターフェースとして、ライブ、リハーサル、レコーディング等のあらゆる場面で柔軟に対応し、今日のミュージシャンやエンジニアなどの多様なニーズを満たす新たなレコーディングソリューションを提供いたします。

2018年8月の発表以来、ミュージシャン、エンジニアの方々から「こういう製品の誕生を待っていた」、「TASCAMがミキサーを作ってくれて嬉しい」など、沢山の応援メッセージをSNS等で頂きました。TASCAMはこれからもユーザーが心地よく音楽に向き合える製品作りを続けて参ります。



## DP-008EX-OT 8トラックデジタルMTR

TASCAM.

日本を代表するアーティスト奥田民生さんの世界観をモチーフにデザインした、8トラックデジタルMTR『DP-008EX-OT』を2018年9月に発表/予約受付を開始し、2019年1月より限定販売いたします。

デビュー30周年を迎えた奥田民生さんは、これまでヒトリカンタビレやカンタンカンタビレなどで革新的な一人多重録音を行ってきました。2018年9月26日に発売されたCD「カンタンカンタビレ」ではオープンリールデッキTEAC 33-8や、アナログミキサーTASCAM M-208など、ティアックの歴史的名機を駆使し、こだわりのアナログレコーディングを実現。YouTubeにもレコーディングの様子がアップされ話題となりました。

録音にも造詣が深い奥田民生さんが、アマチュア時代から馴染みがあるTASCAMのMTRとコラボした『DP-008EX-OT』は、現行品DP-008EXをベースに、奥田民生さんの世界観を体現する外観にリデザイン。奥田民生さんがすべての楽器を演奏し、『DP-008EX-OT』で録音したユニコーンの名曲「働く男」のマルチトラック音源を特典として付属しております。楽器演奏をされない方でも、『DP-008EX-OT』だけに収録された、奥田民生さんの特別な演奏「働く男」をマルチトラックで聴き分けて楽しむことができる、ファンにはたまらない特典音源となっております。

多重録音の歴史を作ったTASCAMと、多重録音を新たなステージへ進化させ挑戦し続ける奥田民生との歴史的コラボレーション製品はファン必携のスペシャルなデジタルMTRです。



奥田民生DP-008EX-OT 特設サイト  
<http://okudatamio.jp/special/dp-008ex-ot/>

SMA公式通販サイト ROCKET-EXPRESS  
<https://www.rocket-exp.com/s/R/item/detail/2088381806>

会社の概要

商号 ティアック株式会社  
(TEAC CORPORATION)  
本社 〒206-8530  
東京都多摩市落合一丁目47番地  
設立 1953年8月26日  
資本金 35億円  
事業年度 4月1日～翌年3月31日  
代表者 代表取締役社長 英 裕治  
従業員数 単体240名 連結688名

●国内拠点

ティアック株式会社  
本社 [東京都]  
EMCセンター [埼玉県]  
大阪営業所 [大阪府]  
名古屋営業所 [愛知県]  
エソテリック株式会社 [東京都]  
ティアックマニュファクチャリングソリューションズ株式会社 [東京都]  
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]  
ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

●海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]  
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]  
TEAC UK LTD. [英国]  
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]  
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]  
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

<https://www.teac.co.jp/jp/>

投資家向け情報



役員

代表取締役社長 英 裕治  
取締役 野村 佳秀  
取締役 Henry E. Juszkwicz  
取締役 David Berryman  
取締役 Solomon Picciotto  
取締役 Bruce A. Mitchell  
取締役 Benson K. Woo  
取締役 Alan J. Carr  
取締役(監査等委員) 吉村 邦彦  
取締役(監査等委員) 原 琢己  
取締役(監査等委員) 坂口 洋二

株式の状況

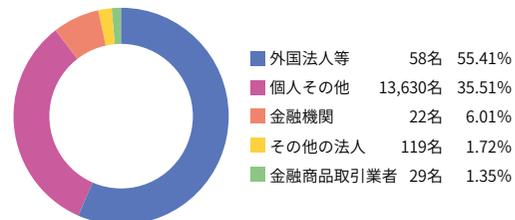
発行可能株式総数 … 400,000,000株  
(2018年10月1日付株式併合後 40,000,000株)  
発行済株式の総数 … 288,113,659株 (自己株を除く)  
(2018年10月1日付株式併合後 28,811,365株)  
株主数 ……………… 13,858名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.65
株式会社三菱UFJ銀行	3,433	1.19
オンキヨー株式会社	2,894	1.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,785	0.97
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.70
安藤 収	2,000	0.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,860	0.65
株式会社SBI証券	1,481	0.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,367	0.47
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,342	0.47

(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。  
(注) 持株比率は、自己株式(1,203,475株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
配当金受領株主確定日 3月31日  
単元株式数 100株

\*当社は、2018年10月1日付で、単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)、株式併合(10株を1株に併合)を実施いたしました。

定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について  
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。  
当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。  
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

●証券会社等の口座で所有の株主様  
お取引のある証券会社等にお問合せください。

●特別口座で所有の株主様  
(証券会社等にお取引口座がない株主様)  
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(TEL 0120-232-711(通話料無料))にお問合せください。

例:  
株主様が10株をご所有の場合



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地  
TEL 042-356-9100 (代表)  
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>